

オレンジ

ORANGE Cafe カフェ

第91号

発行 : hair Sleek HP www.hair-sleek.jp
〒273-0035 船橋市本中山2-19-1 ライフタイムYB2F TEL047-302-8026

編集工学研究所の所長。ある世代の人は、「遊」という雑誌を買っていった人で通じるかと思います。なんせ、知の巨人ですから国家プロジェクトに携わったり、有名企業と共同で大きな仕事をしている凄い人なんです。あと、「連塾」というセミナーを開いていて日本の有史以来から現代までの縦軸を世界史の横軸と絡めてじっくり読み解くモノをやっていてます。とにかく古い事から新しい事まで、日本から海外から宇宙まで、王族のやる事から下賤のやる事まで万遍なく知っているから膨大な情報を整理できるので、キュレーターとして最適なんでしょうね。それに、「千夜千冊」というとんでもない読書感想文というか書評というか、それらとどれとも違うそれを執筆している人で、読書量が尋常でない。以前は丸善の本店に自身のプロデュースした本屋を拵えていました。その本屋は、いろんな情報と情報の関係性を大切にしている狙いがあるため、普通の本屋みたいにジャンルや出版社で区分けはされておりません。例えば、「宇宙」というコーナーがあるとその棚には、宇宙に関する本を節操なく柔らかい発想で並べてしまうのです。難しい宇宙理論、宇宙の図鑑、ロケットの作り方が書いてある本、宇宙食の本、宇宙人の本、星の繋がりからギリシャ神話、漫画の宇宙兄弟・・・などと、本屋を見て回るだけで知的好奇心が増幅するような配置を取っている少し不思議な本屋です。（確かに去年でなくなつたと思いません。）そんな松岡さんが今年新たに本屋をプロデュースしました。場所は有楽町。無印良品の旗艦店にできたMUC BOOKSなるものです。ただの本屋ではなく、無印良品に関連のある書籍をおいてあるので、いわゆる本屋よりジャンルの限定は著しいとは思いますが、百円でコーヒーも飲めるみたいなんでフラツと立ち寄つて無印でホホバオイル（↑最近のお気に入り）でも貰つてみようかなと思つています。

松岡さんは、ドイツの哲学者のハイデッカーの「情報とは命令である」という言葉を引き合いに出してそれを乗り越えろと教えてくれました。付けてしまつた知識に縛られずに、新たな自分発信の情報として吐き出して新たな関係性というモノを創発するようにします、と。何でも知つていいだけではないし、情報に溺れてしまふのもいいたくないし、持つてある知識や経験を色々な角度から引き出して活用できるように生きてると新発見がたくさん見つかり結構楽しいかなって思えます。

わたくしのひとりごと

何でも知つてそうな人っていますよね。いろんな形容なされ方があります。何代も前からその土地に住んでいるじいさんなんかは「長老」とか、落語の世界だと「ご隠居」だつたり、アカデミックに傾くと「生き字引」なんかもそうだと思います。僕の好きなフレーズはなんといっても「知の巨人」です。カツコイイ。昔から現代まで、知の巨人は物知りな人とかの聖号みたいに氾濫はしています。加藤周一、柄谷行人、梅棹忠夫、柳田國男、南方熊楠、丸山真男、荻生徂徠、立花隆などなど、ちょっととそのキーワードで検索かけるとごそつと出てきます。その中でも、今

OUTBATH アウトバス TREATMENT
GROSS Sleek WAX
SPRAY グロス WINTER WAX
WAX BRUSH SALE
SCALP LOTION TRE
SHAMPOO シャンプー

20%
OFF
ITEM

リュウタロウ

ドライヤー、コテ、アイロンで髪が傷むというコト

一般的にも、熱が髪に及ぼすダメージってコトに関しては「ある」という認識でボヤッと拡がっていると思います。そこそころをチョイとだけ掘り下げます。

まず、毛髪科学上のデータで髪の毛は、乾いた状態で130°C、濡れている状態では60°Cを越えると「タンパク変成」という元には戻らないダメージの原因となる反応を起こすといわれています。この「タンパク変成」というのは、ゆで卵で想像すると解りやすいのです。生卵は茹でて、ゆで卵にする2度と生卵には戻らないです。卵も髪も種類は違いますが、タンパク質で構成されている有機物です。変成を起こしたタンパク質は固まって元には戻りません。ゆで卵は固めて食べるとおいしいという用途があるので、髪は固まると手触りの硬さやざらつき、カラーの色味の沈み、薬剤の反応域の減少などいい事がありません。

こんな情報にアレルギーを起こして「じゃあ、私はもう髪を乾かしません」宣言をしようと思った人。もう少し、読んで下さい。髪の毛を乾かすのが面倒だからってタンパク変成を盾にして乾かすのをやめて他のダメージの原因を作ってしまいますよ！髪の濡れた状態がいかによくないかってことは以前に詳述したので今回は割愛させて頂きます。忘れちゃった人はお店でスタッフに聞いて下さい。では、毛髪と熱の関係性を紐解いていきましょう。

では、ドライヤー、コテ、アイロンの一般的な温度を知りましょう。

ドライヤー 約130°C コテ 180°C以上 アイロン 200°C以上

それぞれ、最高温度はコレくらいだと思います。(メーカーによって違いはあります)怖いですね。しっかり変成を起こす温度ですね。では、変成を最小限にするという努力をしましょう。熱がダメージを起こしてしまって前前提のテーマですからね。



1 ドライヤー

ドライヤーは濡れた髪に使うので60°Cと130°Cと両方に注意しなければなりません。まずは、濡れた髪に対しての60°Cなんですが、コレはじつはそんなに考えなくてもいいのです。濡れた髪に130°Cの熱を当てても、ラップでくるんで(水分を逃がさないで)当て続けなければ60°Cになります。そして、風を当てれば乾いていくので乾いた髪の注意しなければいけない温度130°Cに焦点を当てます。熱を1力所に当て続けなければ、130°Cにはなりません。そうです髪を乾かすだけならさほど問題はないということです。ブローをする場合は、何度もやり過ぎないコトが肝要です。



2 コテ・アイロン

2つをまとめたのはどちらも、変成を起こす温度を大きく超えているからです。200°Cほどの熱は危険な熱です。髪は10秒くらい耐えられると思いますが、更なる加温は変成を飛び越えて組織が破壊されて断毛していきます。コテ・アイロンを使う場合はなるべく短時間が鉄則です。

スタイリングは毎日仕事なので、ダメージの最小限を心がけましょう。

毎月、出されるお題に Sleekスタッフが自分を さらけ出すコーナー

今年の秋は？



今年の秋は、右の写真にあるようにゴルフと釣りをしました。ゴルフはスポーツ。釣りは行楽ですかね。ただ釣った魚はちゃんと、湯引き、あら汁、竜田揚げ、焼き魚ちゃんと料理もしましたから、食欲もありますね。まだ少し秋も残っていますから芸術と読書ですね。読書をあまりしない私にも現在気になっている本がありまして、「大脱出」という本です。ノーベル経済学賞を取った人の本なんですが、読みやすいよと言われたので挑戦しようと思います。

さとう



○○の秋と言われて、私がまず思い浮かぶのは、やはり”食欲の秋”でした。栗にサツマイモ、きのこなどの美味しい秋の味覚があちこちで売られているとついつい買ってしまい、食べ終わったあとに「またやってしまった…」と後悔するというルーチンを繰り返しています^ ^；おかげで、せっかく落ちた体重がまた元に戻っていそうな気がして、体重計に乗る事から逃げ回っています。ただ、来月にまたコストの予定が入っているので、ぼちぼちまたダイエットをしようかななど思っています！あとコレは秋関係ないですが、最近サンクスのとろけるプリンにハマってしまい…これだけはやめられそうにないです…☆
せめて夜に糖分を摂取するのだけは避けていこう
とおもいます^ ^；；

あづ



hair Sleek

〒273-0035

住所 船橋市本中山2-19-1
ライフタイムYB2F

平日・土 am10:00～pm8:00
(金曜はpm10:00まで営業)
日・祝日 am10:00～pm7:00

定休日 每週火曜日 第3月曜日

駐車場 1台有り

予約受付 047-302-8026

H P www.hair-sleek.jp



EDITORIAL NOTE

今年もあと2ヶ月、年々1年が過ぎるのが早くなると聞きますが、あっという間、夏が終わったら、もう年末って感じです。

今年の冬は寒いらしいです、長期予報なのでコロコロ変わりますので分かりませんが、冬が寒いのは確定。もうすでに風邪を引いた方、今引いている方もいると思いますが、体調には気をつけて、秋に色々と楽しい事をして風邪なんて吹っ飛ばしましょう。

11月スタッフ公休のお知らせ

佐藤	9日（月）
リュウタロウ	11日（水）
あづさ	4日（水）